

書籍『図説 %Z法と対称座標法の入門』初版 **第3刷、第4刷**の正誤表

題記の書籍をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。その書籍の中で、下表に示す箇所に誤記がありましたので、お詫びして訂正します。  
 なお、下表の「訂正箇所」の欄に赤色で示した事項が、今回の追加訂正分です。 著者；柴崎 誠

訂正箇所	誤っている表記	正しい表記
P7の「手順4」から 下方へ7行目	・・・算出するためには、1000_____×3 [kV・A] に置き換えます。・・・	・・・算出するためには、1000 $\frac{V \cdot A}{kV \cdot A}$ ×3 [kV・A] に置き換えます。・・・
P7の下から3行目	・・・[kV]の単位で表した1000_____×66 [kV]の 数値に置き換えます。・・・	・・・[kV]の単位で表した1000 $\frac{V}{kV}$ ×66 [kV]の 数値に置き換えます。
P56の(16)式 の分母	$\%R_1[\%] = \dots = \frac{10.166 \times 10^{-2} \times 200}{10 \times \underline{044}^2} =$	$\%R_1[\%] = \dots = \frac{10.166 \times 10^{-2} \times 200}{10 \times \underline{0.44}^2} =$
P59の例題1の 設問文の3行目	変圧器Aの%漏れ $X_T$ 値は、・・・	変圧器Aの%漏れ $Z_T$ 値は、・・・
P106の下から4行目	・・・発電設備が全出力の <u>450</u> [kW]のとき、・・・	・・・発電設備が全出力の <u>900</u> [kW]のとき、・・・
P152の6行目	・・・電源電圧値の $E_{SA}$ , $E_{SA}$ , $E_{SA}$ を・・・	・・・電源電圧値の $E_{SA}$ , $E_{SB}$ , $E_{SC}$ を・・・
P154の7行目	先の講義 <u>03</u> で・・・	先の講義 <u>02</u> の第2項で・・・
P161の(11・17)式	(説明) 右辺の( )内の分子に負符号が付いている。 $\dot{V}_1 = \dot{E}_{SA} - \dot{Z}_1 \cdot \dot{I}_1 = \left( 1 - \frac{-\dot{Z}_1}{\dot{Z}_0 + \dot{Z}_1 + \dot{Z}_2} \right) \dot{E}_{SA}$	(説明) 右辺の( )内の分子の負符号を削除する。 $\dot{V}_1 = \dot{E}_{SA} - \dot{Z}_1 \cdot \dot{I}_1 = \left( 1 - \frac{\dot{Z}_1}{\dot{Z}_0 + \dot{Z}_1 + \dot{Z}_2} \right) \dot{E}_{SA}$

次頁に続く

訂正箇所	誤っている表記	正しい表記
P172 図 15・1 の変圧器の%Z値	$\%Z_T = 4.3 \%$	$\%Z_T = 4.08 \%$
P192 の例題 6 の「解法と解説」の中の(1)式から 2 行上から	<p>(説明) 次の二重線を施した 3 か所の「<del>3</del>」が余分であるため、3 か所とも「3」を削除する。</p> <p>・・・ 題意の未補償分の <math>11\,869[\text{kV}\cdot\text{A}/\text{相}]</math> の値から <del>3</del> <math>\%Z_C[\%]</math> の値、及び、零相分 <math>\%Z_0[\%]</math> の値を、<math>3\%R_N[\%]</math> と <del>3</del> <math>\%Z_C[\%]</math> の並列合成値で求めます。</p> $\del{3}\%Z_C[\%] = -j \frac{10\,000[\text{kV}\cdot\text{A}]}{3[\text{相}] \times 11\,869[\text{kV}\cdot\text{A}/\text{相}]} \times 100[\%] = -j\,28.08[\%] \quad (1)$	
P253 の(26・1)式	$+j5 \times (X_{G2} + X_T) \doteq \frac{1}{-j5 \times 2 \omega C_1} \quad (26\cdot1)$	$ 5 \times (X_{G2} + X_T)  \doteq \left  \frac{1}{5 \times 2 \omega C_1} \right  \quad (26\cdot1)$
P264 の 1 行目	・・・ 零相分電流 $\dot{I}_0$ 、及び $3\dot{I}_0[\text{A}/\text{相}]$ が・・・	・・・ 零相分電流 $\dot{I}_0[\text{A}/\text{相}]$ 、及び $3\dot{I}_0[\text{A}]$ が・・・
P269 の図 29・4 の左下	(誤記の説明) C 相電圧の記号が $E_{ac}$ になっている。	(訂正の説明) C 相電圧の記号を $E_{sc}$ に訂正する。
P282 の図 30・10 の中のアーク表示	(誤記内容の説明) 図 30・10 の中の上相の A 相、中相の B 相、下相の C 相の <u>3 相分の全ての碍子表面にて閃絡状態を表すアークを描いてある。</u>	(修正方法の説明) 図 30・10 の中の <u>中相と下相の碍子表面のアークを消去して、上相の碍子表面のアークのみを残し、A 相にて 1 線地絡故障を生じている状態に修正する。</u>
以下余白	以下余白	以下余白

以上